



- ☆特定非営利活動法人設立のご案内
- ☆法人設立会&交流会のお知らせ
- ☆設立メンバーへのインタビュー
- ☆最近の賛同者情報



☆特定非営利活動法人設立のご挨拶

謹啓

仲秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
また、平素は活動にご支援ご協力いただき、誠にありがとうございます。
私どもは内部障害者、及び内臓疾患者の認知度を向上すべく
「ハート・プラス」マークの普及を手がかりにし
「内部障害者・内臓疾患者の暮らしについて考えるハート・プラスの会」
として約三年半活動してまいりました。この度、社会的な信頼と会の活動の安定を目的とし
「特定非営利活動法人（NPO：Non Profit Organization）ハート・プラスの会」
設立に向け6月20日に認証申請書を提出、9月18日法人となりましたことをご報告いたします。

すでにご承知のことと存じますが、当初から活動に携わるメンバーの多くが障害を持ちながら
ネット環境を中心に活動運営をしております。患者本人、患者家族、今後障害を抱える可能性のある
すべての方、後に続く子ども達の為に、恥じることない未来の福祉向上に微力ながらも
お役に立ちたいと考えております。掲げております大きな目標への道のりは簡単ではないと思いますが、
努力致す所存でございます、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。
まずは略儀ながら、書面をもちましてお願いかたがたご挨拶申し上げます。

謹白

平成19年10月吉日

代表理事	清水克俊
理事	白井伸夜
理事	村主正枝
理事（相談役）	中澤 誠（小児循環器医）

法人名 特定非営利活動法人ハート・プラスの会
所在地 〒464-0082
愛知県名古屋市中種区上野一丁目3番9号



☆設立メンバーへのインタビュー

【質問1】会の設立当初から、これほどの拡がりを見せると予想していましたか？

当初、「こんな感じになったらいいな～」という根拠の薄い長期計画を持っていましたが、国会で取り上げられてからのペースは、予想を遙かに上回る早さで拡がりました。本当に関係各位の皆様のおかげです。感謝感謝！

【質問2】今まで辿ってきた中で、良かった事、辛かった事などありますか？

良かった事

正しい事をしているという自負はありましたが、「こんな活動を（マークを）待っていました！」という皆様の切実な声を聞くと「やっぱり間違っていなかった」と安堵します。

辛かった事

自分も含め、運営に携わっているスタッフ達は直面する出来事が初めての事ばかりで、途方に暮れたり泣きそうになることが幾度もありました。そんな時に素人集団の弱さを痛感しましたが、逆にだからこそ新しいことをどんどんチャレンジ出来たのかもしれない。

【質問3】活動の主体が「ネットをメインに展開」という新しい方策ですが、メリット・デメリットを教えてください。

メリット

時間と空間の制限なく、全国の人々と交流できること。
街頭に立って、道行く人に意見を伝える体力が無くとも、知恵と工夫で自分の想いを万人に伝えられる事が出来る！

デメリット

コミュニケーションの柱が「文章」なので、気を付けて文字を練らないと、伝える側と受け取る側で違う疎通になる時がある。それが元でトラブルに発展する場合は要注意。スタッフ間の情報共有の時間差、温度差等があり、改良の余地が多々あり。

【質問4】会の活動を始める以前と較べて、内部障害者に対する「おもいやり」は増えたと感じますか？

数値化できるほど実感はしていませんが、もしこの活動をしてなかったら、今でも内部障害者は相変わらず町中で窮屈な思いをしていることでしょう。

でも、活動をはじめたことによって、マスコミが取り上げてくれ、政治家を動かし、行政も腰を上げ、健常者も振り向いてくれるようになりました。

「おもいやり」が増えたかどうかわかりませんが、「気づいてくれた」ことは確かです。気づいてくれて、考えてくれて、優しさに繋がれば、おもいやりは絶対に増えると信じています。



☆最近の賛同者情報

平成18年11月20日以降の賛同者62人
新規賛同者の疾患内訳

心臓	20名	・	腎臓	12名	・	肺	1名
免疫	3名	・	消化器	8名	・	難病	12名
その他	6名						

現在 賛同者数 800名
(内運営メンバー 15名)

【発行元】～内部障害者・内臓疾患者の暮らしについて考える～
NPO 法人ハート・プラスの会

【連絡先】事務局 info@heartplus.org

